

吉野川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ【現況河道】【11/11】

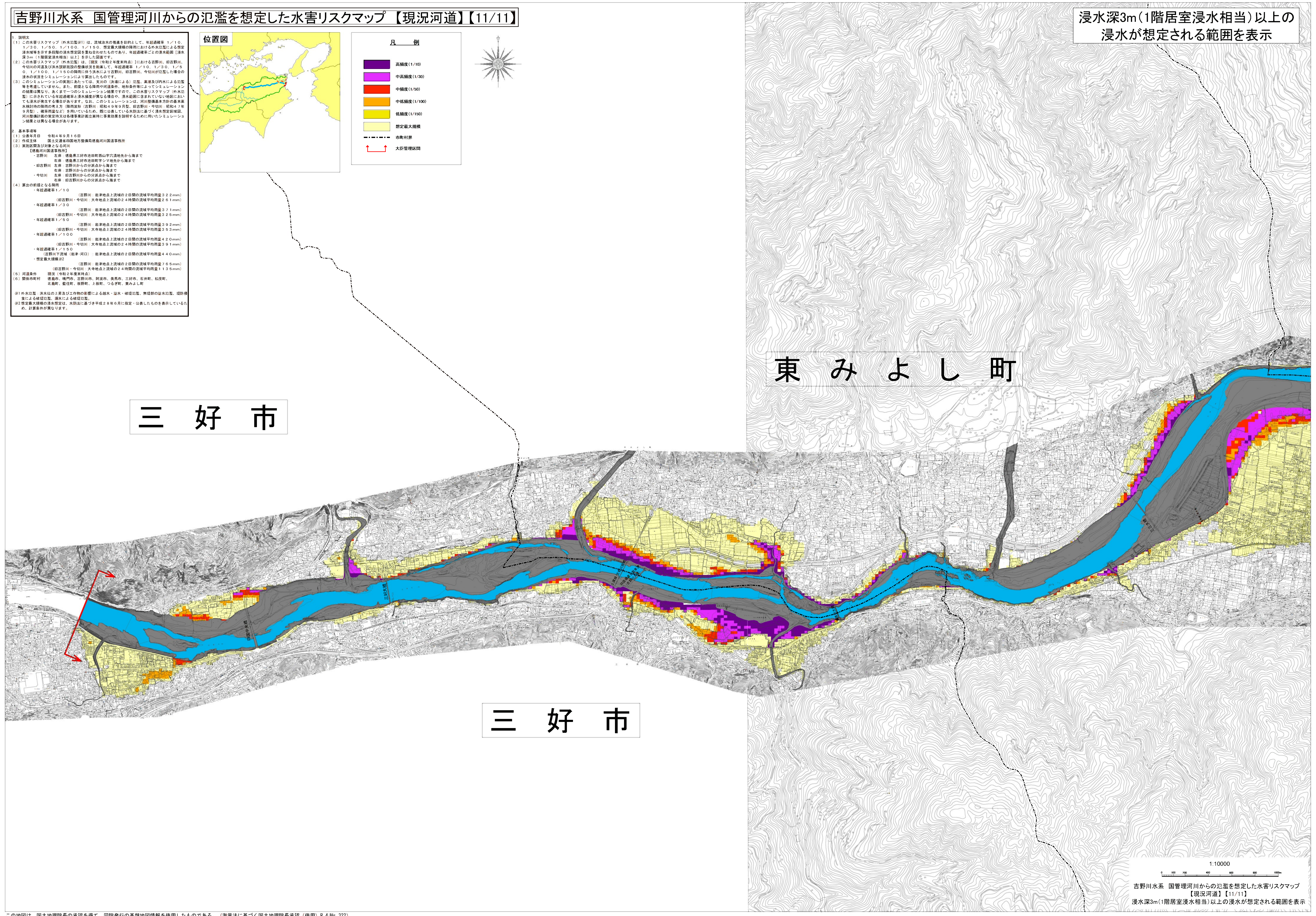
1. 説明文
 (1) この水害リスクマップ(外水氾濫部)は、流域治水の推進を目的として、年超過確率 1/10、1/30、1/50、1/100、1/150、想定最大規模の降雨における外水氾濫による想定浸水深を算出する多段階の洪水想定シミュレーションに基づいたものであり、年超過確率ごとの浸水深(浸水深3m(1階居室浸水相当)以上)を示した図面です。
 (2) この水害リスクマップ(外水氾濫部)は、(現況(令和2年度末時点))における吉野川、旧吉野川、今切川の河道及び外水氾濫部の範囲を算出して、年超過確率 1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の範囲に相当する浸水により吉野川、旧吉野川、今切川が氾濫した場合の浸水の状況を示すシミュレーションにより算出したものです。
 (3) このシミュレーションの前提にあたっては、気象庁(気象庁)による、気象、高度及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河況条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果です。この水害リスクマップ(外水氾濫部)に示されている浸水深は、浸水深が異なる場合、浸水深に示されていない地域においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本水理方針の浸水の考え方(浸水浸透(吉野川 令和4年9月型、旧吉野川・今切川 令和4年9月型)、浸水浸透(吉野川 令和4年9月型、旧吉野川・今切川 令和4年9月型)、浸水浸透(吉野川 令和4年9月型、旧吉野川・今切川 令和4年9月型))を用いているため、既に公表している水防計画に基づいた洪水想定浸透、河川整備計画の浸透又は各種事業計画立案時に公表されたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1) 公表年月日 令和4年9月16日
 (2) 作成主体 国土交通省河川局河川課河川氾濫事務所
 (3) 実施区域及び対象となる河川
 【徳島河川国管理事務所】
 吉野川 徳島県三好市池田町西山平穴池地先から海まで
 右岸 徳島県三好市池田町宇ノ地先から海まで
 旧吉野川 左岸 吉野川からの分岐点から海まで
 今切川 左岸 吉野川からの分岐点から海まで
 右岸 旧吉野川からの分岐点から海まで

4. 算出の前提となる降雨
 ・年超過確率 1/10
 (吉野川) 吉野川上流域の2日間の流域平均雨量 3.2 mm
 (旧吉野川・今切川) 次中央上流域の2.4時間流域平均雨量 3.1 mm
 ・年超過確率 1/30
 (吉野川) 吉野川上流域の2日間の流域平均雨量 3.7 mm
 (旧吉野川・今切川) 次中央上流域の2.4時間流域平均雨量 3.5 mm
 ・年超過確率 1/50
 (吉野川) 吉野川上流域の2日間の流域平均雨量 3.9 mm
 (旧吉野川・今切川) 次中央上流域の2.4時間流域平均雨量 3.8 mm
 ・年超過確率 1/100
 (吉野川) 吉野川上流域の2日間の流域平均雨量 4.2 mm
 (旧吉野川・今切川) 次中央上流域の2.4時間流域平均雨量 4.1 mm
 ・年超過確率 1/150
 (吉野川) 吉野川上流域の2日間の流域平均雨量 4.4 mm
 (旧吉野川・今切川) 次中央上流域の2.4時間流域平均雨量 4.3 mm
 想定最大規模の降雨(吉野川) 吉野川上流域の2日間の流域平均雨量 7.6 mm
 (旧吉野川・今切川) 次中央上流域の2.4時間流域平均雨量 11.3 mm

5. 河況条件 (旧吉野川・今切川) 大雨地上流域の2.4時間流域平均雨量 11.3 mm
 (6) 関係市町村 徳島県(令和2年度末時点)
 徳島市、鳴門市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、石井町、松茂町、北島町、藍住町、後野町、上野町、つるぎ町、東みよし町

※1 外水氾濫 洪水の上昇及び工物の影響による越水・溢水・破堤氾濫、無堤部の溢水氾濫、堤防破壊による破堤氾濫、湧水による破堤氾濫。
 ※2 想定最大規模の洪水想定は、本図面に掲げられている平成28年6月に指定・公表したものを表しているため、計算条件が異なります。



浸水深3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

三好市

東みよし町

三好市

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用したものである。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4.計 322)